

# 山形産和牛の品質の高さ

## 1 肉用牛飼養頭数

(単位:頭)

	肉専用種(和牛)			F1(黒毛×ホル)		ホルスタイン		計
	繁殖雌牛	めす肥育	去勢肥育	F1(めす)	F1(去勢)	ホル(めす)	ホル(去勢)	
肉用牛	6,140	23,530	7,530	290	880	30	470	38,870

※出典 平成27年畜産統計(平成27年2月1日現在)

山形県は和牛肥育の約8割がめす

## 2 和牛枝肉格付け成績(平成27年)(単位:%)

	5等級	4等級	3等級	2等級	1等級	4・5率
山形去勢	43.8	40.1	14.7	1.4	0.2	83.8
全国去勢	32.5	44.2	19.3	4.0	0.2	76.7
山形めす	43.6	37.1	13.4	5.1	0.7	80.7
全国めす	22.7	35.7	21.0	18.2	2.4	58.4

※出典:「牛枝肉格付情報 平成27年1月~27年12月」  
(公益社団法人日本食肉格付協会編)

○枝肉格付けの4・5等級の割合(いわゆる上物率)が高い。  
去勢で全国第5位 83.8%(全国76.7%)  
めすで全国第4位 80.7%(全国58.4%)

○山形県はBMSナンバー10以上割合が高い。  
特にめすが高く、全国平均の2倍以上。  
去勢15.4%(全国11.2%)  
めす16.2%(全国7.5%)

## 3 BMS(脂肪交雑基準)頭数割合

(単位:%)

	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
山形去勢	2.6	4.3	8.5	12.3	17.1	15.1	17.5	12.5	7.3	2.3	0.5	0.0
全国去勢	1.7	3.4	6.1	10.3	12.2	16.7	17.2	14.2	11.5	5.7	1.0	0.0
山形めす	2.7	4.2	9.3	12.8	15.7	15.7	16.2	11.6	6.9	3.1	1.7	0.1
全国めす	0.9	2.3	4.3	7.3	9.2	13.1	14.8	13.7	13.4	11.7	8.9	0.4

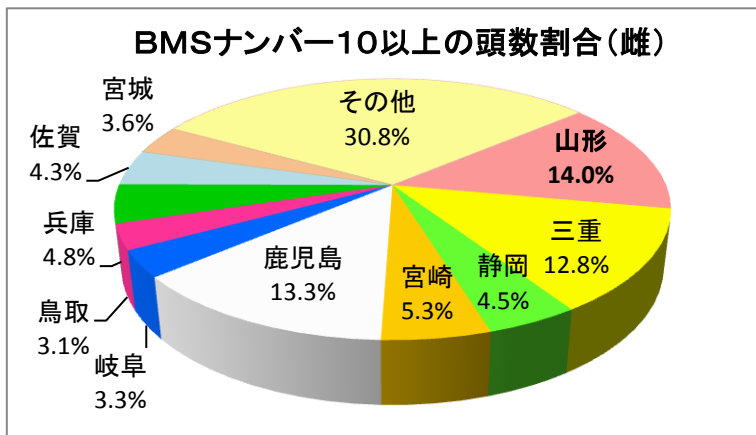
※出典:同上

## 4 BMS上位(No10、11、12)の出荷頭数【黒毛和種 めす】

(単位:頭)

	山形	三重	静岡	宮崎	鹿児島	岐阜	鳥取	兵庫	佐賀	宮城	その他	全国計	山形の割合
No12	363	339	92	80	162	76	79	79	61	44	524	1,899	19.1%
No11	570	688	217	268	650	172	167	216	206	172	1,391	4,717	12.1%
No10	1,245	967	399	481	1,260	267	244	451	410	348	2,884	8,956	13.9%
計	2,178	1,994	708	829	2,072	515	490	746	677	564	4,799	15,572	14.0%

※出典:同上



○BMSナンバー(霜降り度合)  
10以上の枝肉は、和牛の雌牛で山形県が一番多く生産。(全国の約14%が山形県産)  
○特に最高級のBMSナンバー12では全国の約20%が山形産。(全国 1,899頭、うち山形 363頭)

## 5 オレイン酸の割合が55%以上の枝肉[黒毛和種](出典:平成27年度山形県畜産試験場調査)

調査した枝肉約3,140頭のうち、約1,890頭(60.2%)の枝肉が該当(去勢50.7%、雌61.2%)

オレイン酸は不飽和脂肪酸の一種で、融点が低いため、その割合が増すとロドけや風味がよくなると言われており、おいしさを表す指標のひとつとされている。県外ではオレイン酸含有率55%以上を銘柄の認定基準として採用しているところもある。